

**2 目標達成計画**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	館町エリアとして、地域の行事に参加したりと交流を深めることは出来たが、認知症の方への理解や支援方法を地域の人々(推進委員以外の地域の方)に向けて活かしているのか疑問である。	推進委員以外の地域の方へ認知症の理解や支援方法を伝える機会を持ちながら交流を図ることができる。	①法人内サロンなどで講演する場を設ける ②ご利用者の方と散歩など外出した際、すれ違う方へ挨拶を行う。 ③ご利用者が縫った雑巾を小中学校へ寄付する。 ④地域行事へ利用者と一緒に参加する。 ⑤受診の付き添い時など利用者との会話のやり取りから地域の方へ支援方法を伝えていく。 ⑥ボランティアの受け入れの実施(保育園・お茶など) ⑦広報誌で認知症に関する記事(国の施策など)をのせ家族への理解も深めていく。	12ヶ月
2	10	センター方式を活用し、全員でC-1-2シートを記入することでいろいろな視点でその方の思いを汲み取る事は出来ているが、その情報からどのような生活を送りたいか、どうなりたいかを分析する能力を向上したい。	センター方式を活用しながら本人・家族の思いを汲み取り、希望にそった生活をおくる事が出来るようなプランの立案ができるようになる。	①センター方式や観察の視点などの学習会の実施。 ②家族を招いてのカンファレンスの実施。 ③訪問時や電話等で本人の状態をお伝えしたり、何気ない会話で家族との関係性を密にする。 ④職員との定期的な面談を行い、観察のポイントなどのアドバイスをを行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

5				ヶ月
---	--	--	--	----

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。



